

あっぷる（ヨコミネ式自立支援） 5 領域と療育プログラム関係性

児童発達支援

- ・「健康・生活」「人間関係・社会性」「言語・コミュニケーション」の分野を絡めた知育レッスン
- ・「運動・感覚」「認知・行動」の分野を絡めた運動レッスン

「健康・生活」

「健康・生活」

SST

- ・来所時、毎回体温測定や口頭での質問により、健康状態を確認する。意思表示が困難である子どもの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう気を付ける。
- ・保護者と連帯をし、本人の基本的な生活スキル（睡眠、食事やおやつのマナー、排泄等）の習得の支援を行う。
- ・TPO に合わせた挨拶や行動及び上着を羽織るなどの体温管理がとれるように、それぞれの子どもの適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。
- ・準備や支度の過程において、持ち物（忘れ物）の確認や気持ちの切替が柔軟に行えるように支援を行う。

「運動・感覚」

「人間関係・社会性」

「人間関係・社会性」

SST

- ・スタッフとの信頼関係形成を通じて、「人との関係性」を意識し、それを基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。
- ・子ども同士での集団での遊びを通じて、手順やルールを理解し、対人関係を学び、協同遊びや集団活動に参加できるよう徐々に社会性の発達を支援を行う。
- ・事業所で過ごす過程で自身の行動や感情をコントロールできるように、助言し、成長を見守り、支援を行う。

「言語・コミュニケーション」

「認知・行動」

「認知・行動」

ヴィジョントレーニング

- ・ヴィジョントレーニングを通して、視覚から行動への認知過程の発達を促し、感覚や認知の偏りの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。
- ・カードトレーニングを通して、視覚からの瞬間的な情報収集の習得、モノやカタチとしての知識の習得の支援を行う。
- ・レッスンや余暇活動を通じて、様々な情報（数、形の大きさ、重さ、色の違い等）を適切に処理できるように支援を行う。

「運動・感覚」

- ・ヴィジョントレーニングを通して、身体全体の感覚や視野角からの状況把握や空間把握の向上を図る。また、身体のバランスを保つ事を学び、姿勢の維持等ができるように体幹の強化に繋がるように支援を行う。
- ・子どもの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、日常生活に必要な動作の基本となる運動・動作の改善及び習得を促し、保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、レッスンや遊び等を通して支援を行う。

ヴィジョントレーニング

「言語・コミュニケーション」

- ・集団での協同遊びや集団活動を通じて、コミュニケーション能力の向上のための支援を行う。
- ・日常会話や遊び、レッスンを通して言葉の使い方や会話中の態度等を習得できるように支援を行う。
- ・対人関係において、一方的にならぬよう、話を聞く力や相手の気持ちも考えられるようになるようにコミュニケーション能力を育むように支援を行う。

SST

一人遊びから協同遊びへの支援として

- ・1人を好み他児への関わりがない、大人としか関わっていない子
複数児童でのレッスンやイベント行事、スタッフを介しての集団遊びなど
連合的な支援を増やしていき、コミュニケーション能力や社会性を育む。